

# みんなの図書館

# おとのの夜学

## OTONA NO YAGAKU

〔主催〕岐阜市立図書館

〔企画・プロデュース〕NPO法人 ORGAN 蒲 勇介



岐阜にいるのに“知らなかった”岐阜を知る。

〔参加資格〕中学生以上

\*お子さま連れはご遠慮下さい

岐阜ならではの知性が集まり対話する、おとのの為のまなびの時間

〔定員〕50名 〔参加費〕無料

[otonanoyagaku.net](http://otonanoyagaku.net)

師走

2015.12.19 sat

岐阜に  
おいしいものってあるの?

——長良川の食と職——



睦月

2016.1.4 mon

岐阜で育って  
世界で戦えるの?

——長良川の育む感受性——



書初めライブドローイング!  
岐阜が誇るアーティスト一人  
ユネスコ無形文化遺産  
本美濃紙に

如月

2016.2.26 fri

長良川鵜飼が  
天皇の鵜飼になった理由

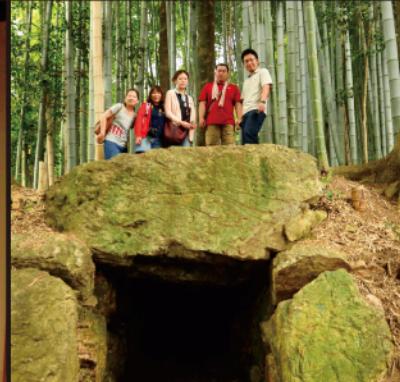
——秘話 かざりゑぼし——

弥生

2016.3.15 tue

古墳をめぐる物語  
古代の岐阜って  
どうだったの?

——日本最大級の古墳集積地で語る——



みんなの図書館  
おとなの夜学  
OTONA NO YAGAKU

岐阜ならではの知性が集まり対話する、おとの為のまなびの時間

各回とも岐阜の地域文化に通じた様々な分野の専門家、

“その道の第一人者”による対談や、パネルディスカッションを行います。

師走

**岐阜においしいものってあるの?**

—長良川の食と職—

2015.12.19 sat 18:30-20:30 / つくるスタジオ



長良川が生み出した生業である川漁師に若くして取り組む平工顕太郎氏と、長良川が生み出した食文化の粋である鮎の塩焼き、熟れずしに真正面から向き合う料理人・泉善七氏による、他では聞くことのできない長良川の鮎トーク。おふたり自慢の鮎料理もちょっぴり味見できます！

泉 善七

いずみ・ぜんしち

泉屋物産店 5代目社長



平工 顕太郎

ひらく・けんたろう

長良川若手漁師  
/鵜飼船頭

長良川漁船「結（ゆい）の舟」代表。鵜匠山下家の鵜舟船頭。長良川中流域に現存する地域固有の川風景を次代へ守り残すため、鮎を捕らえる伝統漁法の継承、天然鮎の種付け、木造漁舟の修復などに従事。

如月

**長良川鵜飼が天皇の鵜飼になった理由**

—秘話 かざをりゑぼし—

2016.2.26 fri 19:00-20:30 / かんがえるスタジオ



日本で唯一の御料鵜飼として、毎年皇室に鮎を納める長良川鵜飼と小瀬鵜飼。この事実の裏には明治の初め、長良川の上で生まれた切ない恋物語がありました。『かざをりゑぼし』の唄と舞に込められた歴史の秘話をふたりのマニアが語ります。幫間・喜久次による舞・かざをりゑぼしの披露と、この歴史秘話を記録した映像を初上映。

小野崎 隆賢

おのざき・りゅうけん

鳳川伎連事務局長  
/岐阜伎芸学校事務局長



内堀 信雄

うちぼり・のぶお

岐阜市教育委員会  
社会教育課長

1959年生まれ、専門は考古学。習俗調査をきっかけに長良川鵜飼文化に惚れ込み、鵜飼漁はもとよりアユズン製造、観覧船造船・操船など“わざ”の文化財指定にまい進、現在に至る。

睦月

**岐阜で育って世界で戦えるの?**

—長良川の育む感受性—

2016.1.4 mon 14:00-15:30 / 展示ギャラリー



今や国際的に活躍するアーティストである、現代美術の日比野克彦氏と日本画家の神戸智行氏。ふたりの心の原風景には常に長良川がありました。このまちで培われた感受性がどんなかたちで世界に評価されているのか、その秘密を探ります。

日比野 克彦

ひびの・かつひこ

アーティスト



神戸 智行

かんべ・ともゆき

日本画家

1958年岐阜市生まれ。各地域の参加者と共同制作を行い社会で芸術が機能する仕組みを創出する。ぎふメディアコスモス応援団長、岐阜県美術館長、日本サッカー協会理事、東京藝術大学美術学部先端藝術表現科教授

1975年岐阜市生まれ。多摩美術大学大学院修了。2008・'09年文化庁在外研修員として米国ボストンにて研修。日本画家。身近な自然を題材に、現代を表現する。個展を中心に国内外で展覧会を開催。

**弥生 古墳をめぐる物語 古代の岐阜ってどうだったの?**

—日本最大級の古墳集積地で語る—

2016.3.15 tue 19:00-20:30 / かんがえるスタジオ



岐阜を中心としたこの濃尾平野が近畿に次ぐ日本最大級の古墳集積地だということを知っていますか？かつて邪馬台国・卑弥呼のライバルといわれた狗奴國の王の墓も岐阜市で発掘されています。岐阜市の古墳を巡り古代と今をつなぐふたりの案内人による歴史トラベルトーク。岐阜の古代に迫ります。

薮下 浩

やぶした・ひろし

元 岐阜市歴史博物館 館長



木村 洋子

きむら・ようこ

長良会古墳部部長  
/陶芸家/コフニスト

陶芸家でありながら石室に魅せられて、古墳の世界に足を突っ込んでしまったコフニスト。陶芸と石室、埴輪、東山道もよなく愛し、また土器や土偶などにも強く惹かれる。古代からの生死感を陶芸作品にて表現している。

**おとの夜学に参加するには…**

[参加資格] 中学生以上 \*お子さま連れはご遠慮下さい

[お申込み] みんなの森 ぎふメディアコスモス 岐阜市立中央図書館(総合カウンター)

[定員] 各回 50名 [参加費] 無料

TEL 058-262-2924 〒500-8076 岐阜市司町40-5

または おとの夜学 web サイト <http://otonanoyagaku.net>